

しずく

No.
137
2026.4

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だよ

●今号の主な内容

特集 令和8年度

雫石町予算…2

3月定例会…8

町政を問う

一般質問 11議員が質問…12

委員会レポート…20

ふるさとへの便り(103)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ

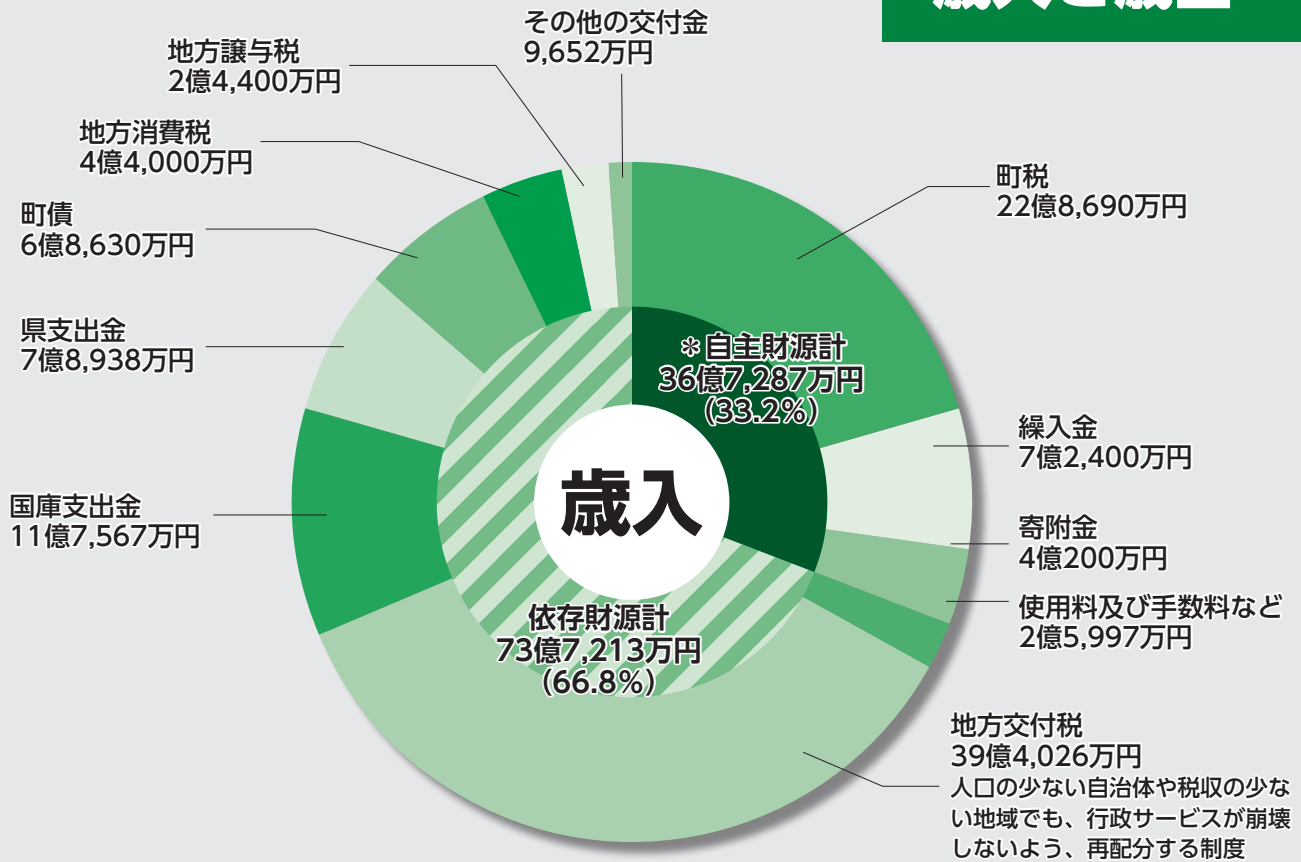
「わたしたち3きょうだい」…24



特集
過去最大規模の当初予算

の当初予算

特集 令和8年度 栗石町予算 歳入と歳出



*自主財源って何？

町税、使用料、手数料など国に頼らず自治体が自ら徴収・調達できる収入です。この割合が高いほど自治体独自の施策を実施しやすく財政が安定・自立しているとみなされます。

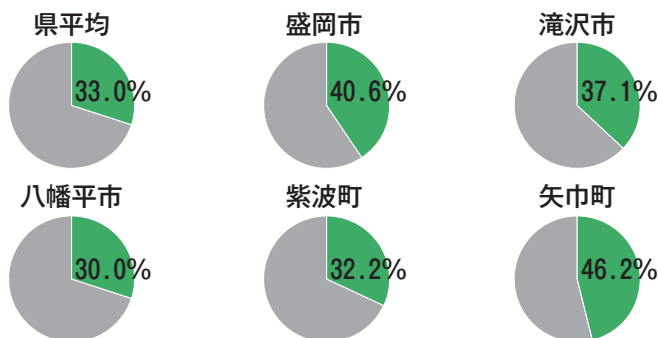


町税の内訳

・町民税7億6,065万円	111%
・固定資産税12億7,382万円	104%
・軽自動車税7,046万円	97%
・たばこ税1億2,306万円	98%
・入湯税5,891万円	100%

(前年比)

近隣市町の自主財源比率(令和6年度)



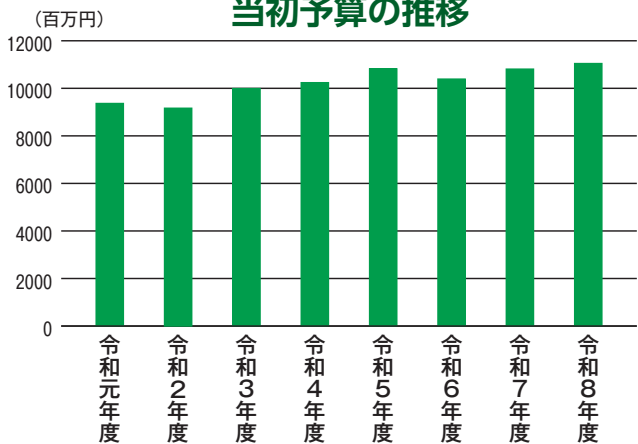
当町の自主財源比率は県平均と近い数値です。

今回は、歳入と歳出の内訳と、町民の皆さんの感想、注目の質疑をお届けします。

令和8年度会計予算特別委員会(徳田幸男委員長、小笠原百合子副委員長)は令和8年3月10日から5日間行い、一般会計など10会計予算について活発な議論を交わしました。

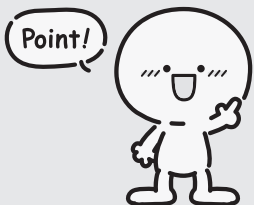
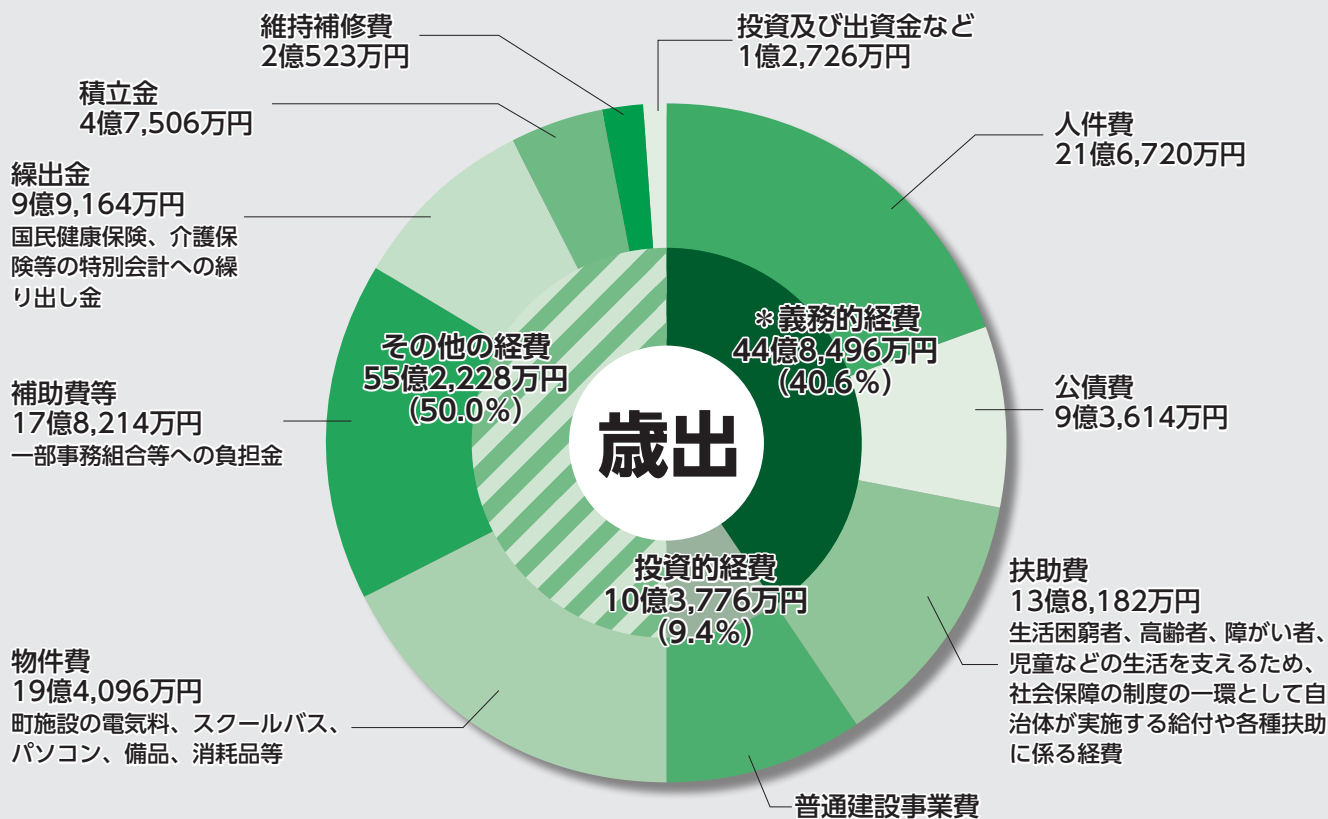
過去最大規模

当初予算の推移



令和8年度一般会計予算の特徴

1. 110億4,500万円で過去最大規模。
2. 町税が前年比5.9パーセント増の22億8,690万円。
3. 公債費（借金の返済）は前年比5.1パーセント増の9億3,614万円。
4. 投資的経費は防犯街灯LED化、西山公民館屋根改修、マイクロバス購入など約5,000万円増。



***義務的経費って何？**

法令等に基づき削減が困難で毎年度必ず支出される経費です。財政の「硬直性」を示す指標で、これが高いと独自の政策（投資的経費など）に回す余裕がなくなります。

ここが知りたい



町単独普通建設事業予算額トップ5

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 防犯街頭LED化業務委託料 | 7,150万円 |
| 2. 西山公民館屋根改修等工事費 | 4,187万円 |
| 3. 銀河ステーション昇降機更新工事費 | 3,707万円 |
| 4. 道路舗装補修工事費 | 2,916万円 |
| 5. 橋梁補修工事費 | 2,050万円 |

事業に一言

特集
令和8年度
栗石町予算
に期待

公開型GIS

公開型GISはインターネットを活用し、防災マップや避難場所の確認ができる。また、町民が発見した道路などの損傷箇所を迅速に町と共有できる。



スマートフォン等からハザードマップや公共施設情報を確認できて、道路の損傷等をインターネット活用して行政と共有できるのは凄いです。使ってみたいと思います。

よこがけ せいいち
横欠 誠一さん (53歳)

横欠



指定文化財等保護事業

町指定の民俗芸能保持団体に対して後継者育成などを支援している。



町には、さまざまな郷土芸能があります。小学生や中学生が地域の郷土芸能を学び、触れ合える機会を増やして後継者が増えることに期待します。

こあかざわ なおこ
小赤澤 直子さん (80歳)

長根



有害鳥獣被害対策強化

有害鳥獣による農作物被害、人身被害から町民を守るために、鳥獣被害対策専門員・実施隊員を中心に被害防止パトロール、捕獲活動を行う。



地域と連携した捕獲、予防の強化に加え、ICTやセンサーを活用した早期発見体制の構築が重要と考えます。人と野生動物の共存を前提とした持続的な対策を期待します。

ささき わたる
佐々木 航さん (47歳)

駅前



給食無償化

4月から小学校給食費が無償化されることに伴ない、町単独で中学校も給食費を無償化する。



今年は次男が中学校、三男が小学校へ入学します。長男も中学3年生のため受験を控え、お金がかかる時期が続きます。小中学校の給食費無償化はとても助かります。

まえかわ まい
前川 麻衣さん (37歳)

御明神谷地



肉用牛振興対策事業

農家に対し仔牛の導入等の支援を行い、畜産経営の安定を目指す。



仕事で使う農業機械や飼料の高騰も不安です。和牛繁殖の仕事は常に仔牛の体調や親牛の分娩を管理するので生活の中でも第一優先になります。持続するための補助金や支援があればいいと思います。

みかわ しんや
三河 真也さん (47歳)

矢櫃



旧上長山小学校利活用事業

旧上長山小学校を引き続き利用するための維持管理に必要な経費です。



旧上長山小学校を自然学習やeスポーツを楽しめる場所や学校の雰囲気を生かした読書空間、ミニライブなどスポーツや音楽の交流の場として、利活用できればいいです。

まつばら ひろき
松原 宏樹さん (47歳)

晴山



特集

令和8年度 栗石町予算 気になる質疑

マイクロバス購入費 1,167万円

横手委員／マイクロバスを1台購入するが、古いバスも残しておけば部活動の地域移行などに活用できるのでは。
総務課長／規定の年数（13年、走行距離13万km以上）を超え修理の回数も多くなっている。担当課と相談して活用を検討する。



規定年数を超えている現在のマイクロバス

放課後児童クラブ運営事業 3,860万円



利用者の減少が続く放課後児童クラブ

堂前委員／放課後児童クラブの予算が前年比450万円増額の理由は。

こども課長／最低賃金が引き上げられたことにより、人件費が増額した。また、利用者数が減少したことにより、利用料金収入も減ったため、委託料を増額した。

人工透析通院 交通費助成費 144万円

小笠原委員／高齢化が進むと、今後利用者が増える可能性がある。どのように支援するのか。

福祉課長／対象者が増えた場合は、補正予算で対応しながら、増額して支援を続ける。



老朽化が著しい老人憩いの家

老人憩いの家管理運営事業 943万円

杉澤委員／指定管理を4年から2年に縮めるのではなく老朽化が著しいので、ここで閉館する決断も必要では。

福祉課長／令和6年度の利用実績が17,424人なので利用できるところまで利用していく。この2年間は利用終了の周知期間である。

肉用牛振興対策事業費補助金 1,216万円

坂井委員／畜産農家は長引く和牛販売価格の低迷、仔牛導入価格の高騰に苦慮している。さらなる支援を。
農林課長／和牛販売価格が80万円を超え肥育がきびしいことは理解しているが、現在は交付金がないので、町の補助金を活用して支援していく。



望まれる肉用牛の振興対策

地産地消推進事業 186万円

山崎委員／盛岡農業高校が、栗石で長い歴史のある黒千石大豆でシフォンケーキを作り全国に発表した。栗石中、栗石高でも地産地消を考えたものを作っていくことを働きかけては。

農林課長／栗石中には家庭部があり、産業まつりなどで関わりがあるので、情報共有していく。



産業まつりで栗石中家庭部による産直販売

旧上長山小学校利活用事業 369万円



旧上長山小の利活用はどうなるか

岡本委員／優先交渉権者が撤退したが、今後の取り組みは。
観光商工課長／令和8年度は体育館、屋外運動場の貸し出しを進める。学校の利活用については白紙とし、改めて協議していく。

芸術文化学習事業 680万円

島山委員／ふるさと民謡民舞まつりや南部よしゃれ全国大会など野菊ホールを利用したイベントが次々と中止になっている。子どもから年配の方まで楽しめるイベントを招致するべきでは。
生涯文化スポーツ課長／町民が文化にふれる機会を提供できるように努力していく。



町民が文化に触れる中心施設

外来植物駆除業務委託料 42万円

西田委員／繁殖力の強いオオハングウソウの繁茂箇所を調査し対策を。
町民課長／台帳を作成して把握している。また、新規事業の環境保全奨励金で町が行ってきた駆除を町民にもお願いする奨励金を設ける。



繁殖力が強いオオハングウソウ

学校給食事業 小学校 4,683万円 中学校 3,030万円 保護者負担金 0円

横手委員／中学校は町負担で無償化するが、生徒と保護者に的確に説明するべきでは。
教育次長／社会全体で子どもたちが支えられていることを伝える機会を設ける。



今年度から無償化される小中学校の自校式給食

指定管理鳥獣対策事業 695万円

金子委員／県ではガバメントハンター（認定鳥獣捕獲事業者）が委嘱になったが、町の対応は。
農林課長／鳥獣対策に特化した専門員を配置した。狩猟免許を所持しているため、名称は違うが、ガバメントハンターと同等と捉えている。

総括

原油価格高騰が予算に与える影響

岩持委員／今回の原油価格の高騰は当初予算の算定期間では想像できなかったと思われる。全町民に影響を及ぼすのでは。
総合政策課長／昨年11月、12月の単価を反映したもので今の原油価格の高騰は入っていない。町としても国の支援策等の動向を見ながら、適宜補正予算を計上して、臨時議会等に対応していく。
岩持委員／国の予算が決まり次第、補正予算を早急に計上し、町民の生活の不安につながらないようにするべきでは。
町長／国の補正予算が決まる前に町予算で対応したいが難しい。各自治体単位でできる課題ではないので、早く国の手だてをしていただけるよう、それに全力を傾ける。

歳入

不動産売払収入 1,540万円

高橋委員／土地売払収入が1,100万円ほどの予定になっているが、その内容は。
総務課長／町有地で未利用地になっている部分を売却に向けて検討を進めてきた。昨年度、不動産算定をかけた販売額が確定したので収入の予算とした。

法人町民税 1億377万円

島山委員／法人町民税が好調で令和8年度は1億377万円と、令和に入ってから過去最高の金額となっている。その要因は。
税務課長／令和7年度は大きな企業が増収増益だったことから、法人割の税額が多かった。引き続き企業収益の改善を見込んでの編成とした。

令和8年度 一般会計 歳入歳出 10会計を認定

- 子ども・子育て支援給付金創設、新たに国保税で支援納付金を徴収
- 行政情報をデジタル地図上に表示する
- 公開型GISを構築
- 銀河ステーション指定管理料、補正予算執行に附帯決議

令和8年3月定例会は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で行われました。本定例会では、条例の制定3件、条例の一部改正7件、補正予算9件、当初予算10件、その他17件を審議しました。

また、一般会計補正予算（第9号）の栗石銀河ステーション指定管理料の執行に対し、増額積算の見直しを求める付帯決議が提出され可決されました。

令和8年度予算特別委員会（委員長：徳田幸男議員、副委員長：小笠原百合子議員）は、10件の当初予算を審議し、すべて原案通り可決しました。

一般質問は、11人の議員が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えを質問しました。

令和8年度当初予算

会計名	予算額（対前年比）
一般会計	110億4,500万円 (2億3,500万円増)
国民健康保険特別会計	17億6,631万円 (3,769万円減)
御明神財産区特別会計	1,636万6千円 (1,122万8千円増)
介護保険事業勘定特別会計	21億3,167万5千円 (6,110万6千円増)
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	1,221万円 (31万8千円増)
栗石町立栗石診療所特別会計	5億3,987万9千円 (6,842万1千円増)
後期高齢者医療特別会計	2億8,374万3千円 (4,174万3千円増)
水道事業会計	11億1,411万5千円 (2億8,039万8千円増)
簡易水道事業会計	4,293万6千円 (349万2千円減)
下水道事業会計	14億7,423万3千円 (1億2,646万6千円増)
合計	184億2,646万7千円 (7億8,349万8千円増)

「こ」が変わる

○子ども・子育て支援給付金の創設

子育て世帯を支える新しい分かち合い・連帯の仕組みとして、子ども・子育て支援金制度が創設された。

医療保険の保険料とあわせて、令和8年度から新たに創設された支援納付金が徴収される。

国民健康保険税における支援納付金は、所得割額は0・27%、被保険者均等割額は一人について年額1,200円、18歳以上被保険者均等割額は一人について年額90円、世帯別平等割額は1世帯について年額800円を、令和8年4月1日から徴収される。

○公開型GIS及びデータ連携基盤構築事業

これまで、町が保有するハザードマップや道路台帳といった行政情報は、担当部署ごとに紙図面やPDFデータといった異なる媒体で分散管理されていた。そこで、住民等と行政がデジタル技術を活用した地図上で双方向につながる仕組みを2カ年で構築し、住民等はスマートフォン

等からハザードマップや公共施設情報を確認できるようになる。さらに、道路の損壊箇所といった地域課題などインターネットを介して行政と共有することが可能となる。

主な質疑

Q 「徳田議員」 栗石町犯罪被害者支援条例について、相談窓口対応など人的体制や主な支援内容は。

A 2名の職員配置を予定している。相談内容に応じて各課と連携しながら支援していく。見舞金についても支援していく。



今後も注視が必要な銀河ステーションの指定管理

Q 「山崎議員」 銀河ステーション指定管理者に対して町が指導、監視する体制が必要では。

A 社会情勢の変化を十分に踏まえ、今後は施設の安全性やサービス水準の維持のため、毎年度複数回の協議を行う。

○付帯決議

一般会計補正予算(第9号) 銀河ステーション指定管理料の執行に対し、増額に係る積算の見直しを求める決議を可決。

指定管理業務に係る支出額が収入額を上回る赤字が見込まれた計画が指定管理者から提出されたものの、担当課とのすり合わせ不足により前年



付帯決議に対し起立する議員

討論要旨

度と同額の年度協定を締結しており、明らかに当初から不備のある計画である。また、指定管理者の都合による人員配置の増員等を安易に認めるこ

物価高対策、特に農業部門で十分
反対
〔西田征洋議員〕

物価高騰の流れを甘く見ている部分がある。物価高騰で大変な時期に、公共料金の値上げを決めて町民負担を増すのは、あきらかに矛盾している。特に農業生産現場には今まで以上に大きな影を落とし続けるのは明らかで、町の直接、間接の応援が不可欠である。これから農作業が本格的に始まり、経費も高まってきて、それに対する応援も欠かすことなくなくてはならない。補助案をこの当初予算案で明らかにして、農家の心配を少しでも緩和してもらいたい。医療福祉部門でも住民負担を押し付けられている。以上のことから反対する。

次世代へつなぐ未来へ踏み出す積極予算
賛成
〔高橋公史議員〕

とは、他の指定管理施設との整合性を鑑みて承認できないため、本補正予算執行に対し積算見直しの付帯決議をする。

本予算は、少子高齢化と人口減少、物価高騰、担い手不足、地域医療や防災体制の維持といった町が直面する現実から向き合いながら、町民の暮らしを守り、未来への備えを進める内容である。また、町の将来像「みんながつくる 未来へつなぐ ふるさとしずくいし」の実現に向け、着実に前に進める予算である。また、本予算は子どもと未来への投資を明確にし、医療と防災、生活の安心を守りながら、産業と交流、環境と文化を次世代へつなぐ内容であり、未来へ一歩踏み出す予算であると判断し賛成する。

議決結果等一覧

令和8年第2回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧

会期：2月26日(木)～3月18日(水)

議案等番号	件名	高橋公史	小笠原百合子	島山操	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明	西田征洋	山崎留美子	議決結果	
議案第11号	令和7年度雫石町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	●	○	○	可決	
発議第1号	議案第11号 令和7年度雫石町一般会計補正予算(第9号)に対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	可決	
議案第12号	令和7年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	可決	
議案第13号	令和7年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	可決	
議案第14号	令和7年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	可決	
議案第17号	令和7年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	可決	
議案第20号	令和8年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第21号	令和8年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第22号	令和8年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第23号	令和8年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第26号	令和8年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第32号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石町老人憩の家鶯宿荘)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第38号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石町地域交流拠点施設・雫石町農村資源活用施設(総合交流ターミナル施設))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第41号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(七ツ森地域交流センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第42号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石町火葬場・雫石町墓地公園)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決

○…賛成、●…反対、欠…欠席、-…退席、/…加藤眞純議員逝去のため議決権なし
 その他の議案は全員賛成しました。※幅議長は採決には加わりません。

議案等番号	件名	高橋 公史	小笠原百合子	島山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	加藤 眞純	杉澤 敏明	西田 征洋	山崎留美子	議決結果
議案第1号	令和7年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

全員賛成でした。

令和8年第1回雫石町議会臨時会 (1月13日)

令和8年第1回臨時会が1月13日に開かれ、町道雫石環状線南畑橋補修工事の変更契約の締結に係る専決処分の報告1件、令和7年度雫石町一般会計補正予算(第7号)について審議し可決しました。

一般会計補正予算 (第7号)

補正前の額	115億2,159万1千円
補正後予算額	119億4,116万4千円
補正予算額	4億1,957万3千円

主な質疑

Q 【徳田議員】物価高騰の影響を受けている町民を支援するため、全町民に一律1万円を支給することとした理由と低所得者世帯や住民税非課税世帯に少しでも多く支給して効果を上げるといったことについて検討したか。

A 【総合政策課長】全町民が生活を営む上で食糧費や燃料費等を

じょうな影響を受けているという認識のもとで、町民一律1万円の給付とした。低所得者世帯等には、令和6年度に物価高騰対応重点支援交付金を給付して支援を行っているため検討していない。今回は食料品等の高騰により低所得者世帯に限らず全町民が物価高騰の影響を受けているという考えから全世帯に均等な給付とした。

Q 【杉澤議員】物価高騰対策プレミアム商品券発行事業は、本年6月下旬に商品券を販売して7月1日から9月30日までを使用期間と予定しているが、物価高対策としては時間がかり過ぎていて、適時適切に執行してはどうか。

A 【観光商工課長】今年度、昨年度についても今回予定している期間で行っているが、これは委託先との協議で、夏休みの期間やお盆が来る時期であれば使用頻度も上がるものと見込んで時期を設定した。



プレミアム商品券を求めて長蛇の列をなした昨年の販売日

訃報



加藤眞純議員逝去

加藤眞純氏（享年76歳）が去る3月12日にご逝去されました。平成19年4月に初当選以来、連続5期18年にわたり住民福祉の向上と地方自治の進展に貢献され、これまでに教育民生常任委員長や議会広報編集特別委員長等の重責を担われました。

平成27年8月から令和元年7月まで副議長に、また令和3年9月から令和5年7月まで議長に就任され、高い政治信念と強いリーダーシップにより、行政課題の調査・研究に精力的に取り組みられたほか、ペーパーレス議会を進めるべくタブレット端末導入にも尽力され、開かれた町議会の確立に多大な貢献をされました。

ここに故加藤眞純氏の生前のご功績をたたえとともに、謹んでご冥福をお祈りします。

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う

11 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

- | | | |
|-----------|--------------------|---|
| 12
ページ | DMO本登録での事業者への利点は | 質問者／ ^{かね こ} 金子 ^{かず お} 一男 議員 |
| 12
ページ | アグリリサイクルセンターの取り組みは | 質問者／ ^{どう ぜん} 堂前 ^{よし のぶ} 義信 議員 |
| 14
ページ | ラリーの本大会に向けての支援は | 質問者／ ^{たか はし} 高橋 ^{こう し} 公史 議員 |
| 14
ページ | 新高前田住宅整備指針の策定状況は | 質問者／ ^{やま ざき る み こ} 山崎留美子 議員 |

栗石高校志願者数の現状分析は

DMO登録に伴う地元事業者の売り上げへの具体的な影響は把握していないと聞いているが、事業を通じた誘客の増加と地域事業者の商品販売数の増加があったものと捉えている。

Q DMO（観光地域づくり法人）本登録が地元の宿泊業・飲食店・農家の売り上げにプラスの影響はあったか。

町長 誘客と商品販売の増加があったと認識する

DMO本登録での事業者への利点は

質問者／^{かね こ}金子 ^{かず お}一男 議員

「虹色コンパス」は文部科学大臣表彰を受け全国的に高く評価された



A 施設の修繕は1件10万円以上のものは町が実施している。運営開始から令和7年末まで約3億7900万円支出した。修繕計画は、機械設備の修繕を計画してい

Q 施設修繕費の推移と今後の修繕計画は。

A 収支の改善に向けた、指定管理料の見直し、利用料、堆肥販売及び運賃収入の増収を協議した。

Q 施設利用料及び堆肥販売額が減少しているが改善策は。

町長 運営協議会において改善に向けて協議した

アグリリサイクルセンターの取り組みは

質問者／^{どう ぜん}堂前 ^{よし のぶ}義信 議員

アグリリサイクルセンター、根本的な経営改善に取り組むべき



14 ページ 町営体育館の雨漏り対策は

質問者／岩持 清美 議員

16 ページ 大雪による町内の被害状況は

質問者／坂井 尚樹 議員

16 ページ 除排雪委託事業への意見や不満の声は

質問者／西田 征洋 議員

16 ページ 学童保育の第二子割り引き制度の復活を

質問者／畠山 操 議員

18 ページ 杉の根源泉掘削工事後の配湯計画は

質問者／杉澤 敏明 議員

18 ページ 猿子町長の3期目への意思は

質問者／横手 寿明 議員

18 ページ 公共施設を活用した居場所づくりを

質問者／小笠原百合子 議員



キャリア教育（虹色コンパス）の一環として、軽トラ市に参加

A 情報発信は非常に重要だと認識している。多くの方々に栗石高校の魅力を伝えることが一番のテーマだと捉えている。効果的な情報発信に努める。

Q 栗石高校の魅力ある取り組みや町が行っている支援などを町内外の生徒、保護者に対してわかりやすく情報発信できないか。

A 栗石高校の志願者数が減少見込みである状況をどう分析しているか。
Q 募集定員40名に対し志願者数は25名となり、令和7年度と比較して減少しているが、結果に一喜一憂せず、毎年度25名から30名程度の入学者数を確保できるように努めていく。

A しずくいし観光協会が企画事業を複数行い、宿泊事業者に説明会を開催し内容の共有を図り、欠席した事業者には個別説明などで対応した。

Q 地域の事業者や住民と十分な意思疎通がされているか。

鶯宿温泉観光振興の取り組みは



施設修繕が増えているアグリリサイクルセンター

るが、突発的な故障や損傷にも施設の稼働に支障がないよう対応する。



冬の雫石に新たな熱気を。ラリーを町の名物へ

質問者／高橋公史 議員



ラリーの本大会に向けての支援は

町長 本大会に向け支援内容を検討していく

Q 本大会誘致へ町の支援と役割は。

A 自動車ラリー「ラリーチャレ」

のプレイベントは、小岩井農場を会場に2回開催され、2月の大会では2日間で4,400人が来場した。雪上コースで安全に開催できたこ



観客の声援を受けるラリーカー

老朽化が進む新高前田町営住宅の建て替え、またの先延ばしに言葉なし

質問者／山崎留美子 議員



新高前田住宅整備指針の策定状況は

町長 基本的事業計画を策定したが、再検討をする

Q 令和6年9月の一般質問で、7年度にかけ整備指針を策定すると答弁があったが、策定状況はどうなっているか。

A これまで実施した住民との説明会での意見を踏まえ、規模や構造等を盛り込んだ基本的事業計画を策定したが、主に整備

手法に係る検討過程において、主要要素となる経費の大きな変動の影響により有効性や効率性を見通すまでに至らず、改めて規模的な必要性や有効性を再検討する必要があると判断した。

雨漏りは急いで修理しないと壁や土台にも害が及ぶ

質問者／岩持清美 議員



町営体育館の雨漏り対策は

教育長 原因を調査して必要な改修を行う

Q スポーツ協会と懇談会を行った際に、体育館は雨漏りしているとのことである。

避難所にも指定されており、どのように解決するか。



雨漏りが点在する町営体育館の天井

とや、多くの来場者があったことから、町では周知と誘客効果があったと評価した。今後は支援委員会構成団体として来年度予定される本大会に向け支援内容を検討していく。

Q 「粟石・冬フェスタin小岩井農場」とラリーチャレンジを連携させ冬の名物として育て、宿泊・周遊につなげる戦略をどう描くか。

A 冬フェスタとラリーチャレンジを同時開催した実績を踏まえ、来年の本大会が同時開催となれば、その相乗効果もあり、周遊と滞在型観光につながるので情報発信を強化していく。

無形文化財の保存・伝承と後継者育成に向けた町の支援体制は

Q 無形文化財の経費支援を強化しては。

A 物価高騰で衣装や用具費の負担が増えているため、既存補助に加え、町指定団体への定額交付金を新設し、令和8年度から支援を強化する。



整備が進まない新高前田住宅

県央ブロックごみ処理広域化の推進は

Q 新ごみ焼却施設の規模に関する盛岡広域8市町の認識共有は図られているか。

A これまで、盛岡広域環境組合では、事業費の縮小を図るべく、新ごみ処理施設の施設規模が見直されてきた。関係市町において、ごみ減量・資源化や最新の排出量を加味して推計した将来ごみ排出量により算出された施設規模となっており、関係市町における協議の場を通じて認識の共有が図られている。

A 主に施設南側の部分で雨漏りが確認されており、防水ゴムシート部分の経年劣化が原因と考えられる。スポーツ協会とともに原因を調査したうえで、必要な改修を計画的に行う。

農業政策の取り組みは

Q コメの価格は高値となったが、農業政策は頻繁に変わるため農家では先を見通すことが難しい。農業政策の変更点は。

A 令和8年産の水田政策は、農業再生協議会総会で取り組みを決めており、制度については制度説明座談会を開催しているが、大きな変更点はない。国は令和9年度に水田活用の直接支払交付金の大幅な制度改正を決めている。その変更点は、田畑に限らず作物の生産性を高める取り組みに対して支援するという方針を掲げている。

Q 町の農業の見通しと農家に求めることは。

A 担い手不足が顕著であり、毎年の異常気象、生産資材等の高騰などで農業は難局を迎えている。農業者には意欲をもって生産に取り組んでいただきたい。町としても関係機関と連携を図りながら、農業所得向上のための必要な支援を行う。



霰石中の家庭部は「雪んこ見守り隊」活動の一環でそばを贈りました

質問者／坂井尚樹 議員



大雪による町内の被害状況は

町長 負傷者事案1件、建物被害も確認

Q 年明けからの強烈な寒波により全国的にも被害拡大したが町内の被害状況は。

A 人的被害は除雪作業中の負傷事案1件、積雪及び暴風雪被害は非住家です。農林被害については、岩手県農業共済組合よりハウス被害7棟と確認した。家畜被害はなかった。

Q 高齢者・一人暮らし世帯などへの除雪支援は。

A 軽度生活援助事業での除雪支援は対象者12人に対し47回、スノーバスターズ

物価高騰対策、しっかり取り組みたいですね

質問者／西田征洋 議員



除排雪委託事業への意見や不満の声は

町長 道幅拡幅や路面整正の要望があった

Q 町道の除排雪委託事業について、不満や不安の声は届いているのか。

A 1月の寒波による大雪や地吹雪、さらさら降雪や気温上昇による路面悪化の影響で、一部路線で除排雪の遅れが生じた。このため、町民からは道路脇の堆雪による道幅拡幅や路面整正、日中の除雪作業の進捗に関する問い合わせなどの要望があった。

物価高騰対策への具体的な取り組みは

町のウェブページは使い勝手が悪すぎるので早期改善を

質問者／畠山操 議員



学童保育の第二子割り引き制度の復活を

町長 適正な利用料金について検討する

Q 学童保育で、令和6年度まで実施していた第二子以降の割り引き制度を復活させては。

A 今後の経済状況や利用者のニーズを把握し、利用しやすい施設の在り方と適切な利用料金を検討する。

待機児童数が増加している理由は

Q 出生数は増加していないが、直近3年間で待機児童数が増加している理由は。

事業では対象者13人に対し17回出勤している。また、雪ん子見守り隊により延べ316世帯を対象に中高生281人を含めた382人が出勤し、それぞれの世帯状況に応じて支援している。



大雪の被害を受けた家屋

農林水産業費の予算編成はどのような方針か

Q 令和8年度の農林水産業費の当初予算編成方針と重点事業、新規事業は。
A 担い手確保、生産基盤強化を柱に、新規就農者・若手農業者支援、スマート農業導入支援、ほ場整備、有害鳥獣被害対策の強化を重点事業とし、新規事業はない。

Q 物価高対策としての具体的な取り組みは。

A 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全町民に対し物価高騰対策給付金1万円を一律給付する。続いて1万3千円分のプレミアム商品券を1万円で発行する。

Q 4月1日施行予定の水道事業給水条例の一部改正について、施行の延期や見直し中止も含めて再検討しては。

A 給水人口の減少による収益減と、施設更新・維持管理費の増加に対応し、安定した水道事業を維持するため、審議会の答申と議会の議決を経て条例を改正・公布したものであり、施行延期や撤回はできない。



水道管の更新や維持管理には多くの費用が必要

A 入所希望児童の低年齢化により、配置基準を満たす保育士の数を十分に確保できていない。町立保育所の職員体制の強化、在宅保育世帯への経済的支援を継続して対策を進める。



きめ細やかな保育が特徴の小規模保育園

町のウェブページの改善を

Q ホームページ上に議会サイトへのリンクがないのはなぜか。
A 利用者の使いやすいさと統一したデザインを優先して設計したため。



経常収支比率が最悪の状況にあるので、経常的経費の削減が必要だ

質問者／杉澤敏明 議員



杉の根源泉掘削工事後の配湯計画は

町長 温泉の安定供給となる対策を講じていく

Q 新源泉が稼働した後は、新源泉一本で鶯宿温泉全体の配湯を賄うことを計画しているがどうか。

A 新源泉が稼働し、湧出量が安定的であり、配湯施設等の安全が確認できた場合には可能になると聞いている。鶯宿温泉開発株式会社による取り組



計画通り掘削された新源泉

中学校部活動の地域移行、顧問や指導者だけでなく保護者の役割も大事

質問者／横手寿明 議員



猿子町長の3期目への意思は

町長 再選を目指して立候補を表明する

Q 今秋行われる任期満了に伴う町長選挙に3期目再選を目指し、出馬の意思はあるか。

A これまでの経験と実績を基盤とし、子ども達や子育て世帯へのさらなる支援の拡充や、若い世代に向けた居住環境の整備、働く場所の確保に向けた企業誘致など、町政をさらに一歩前へ進めるため、引き続き町の舵取りを担わせていただきたく、再選を目指して立候補することを表明する。

子どもたちは安心して遊びも学びもできる場を望んでいる

質問者／小笠原百合子 議員



公共施設を活用した居場所づくりを

町長 児童館や公民館などの利用を推進する

Q 屋内での遊び場を整備している自治体を参考に、既存公共施設を活用した遊び場等の居場所づくりを検討しては。

A 具体的な計画はないが屋内の居場所として、児童館や公民館などの利用を推進するとともに、「つどいの広場」の利活用再開に向け取り組んでいく。



児童館で外遊びする子どもたち

みに加え、町としても長期的な温泉の安定供給のために必要となる対策を講じていく。

選挙啓発事業の取り組み推進を

Q 国政選挙における本町投票率と県平均投票率との差が広がり続けている。選挙啓発事業を実施しては。

A 出前授業、模擬選挙などの選挙に対する子どもたちの考えを高める選挙啓発事業は、非常に有効である。当町においても高校、中学校、小学校と進め、主権者教育にも十分力を入れて投票率の向上に努める。

経常収支比率悪化への取り組みは

Q 経常収支比率が99・6%と悪化していることに対しての取り組みは。

A 令和8年度当初予算編成について経常収支比率の悪化につながらないように、各課で経常的業務事業評価検証シートを作成し予算編成に取り組んだ。令和8年度決算では97%まで下げる目標を立てている。

※経常収支比率…経常的経費（人件費、扶助費、公債費等）に経常一般財源収入（町税、地方交付税等経常的に収入される一般財源）がどの程度充当されているかを見る指標。比率が高いほど財政が硬直していることを示す。

中学校部活動の地域移行に向けた取り組みは

Q 保護者の送迎負担における、スクールバスの活用はいつからか。また、町外の地域クラブ等に所属している生徒への送迎支援を検討しては。

A スクールバスは部活動実施場所、送迎必要人数などを中学校と調整しながら、地域クラブであるアーチェリーや冬季のクロスカントリイなど、令和8年度から下校便の決められたルートの中で運営に支障がないように試行していく。また、町外の地域クラブへ所属する生徒への送迎の支援は現在していないが、どのような支援ができるか検討していく。



部活動地域移行の取り組み事例を学んだ講演会

鶯宿温泉の活性化を

Q 老人憩いの家は、老朽化が著しいものの建て替えは行わないとのことであるが、利用者からは存続を望む声がある。閉館した宿泊施設を活用し老人憩いの家の存続を検討しては。

A 閉館した宿泊施設を活用する場合、取得や改修に多額の費用が見込まれる。また、今後、補助事業も見込めない。将来にわたり相当の維持管理費用負担を要することが明らかであり、現施設の閉館後に後継施設を設けて老人憩いの家を存続する考えはない。

公共交通の充実を

Q JR栗石駅や温泉地を結ぶ観光二次交通として、あねっこバスの活用を検討しては。

A あねっこバスは、「町民の生活交通の確保」を主目的として運行しており、使用車両も路線に応じた定員の車両を使用している。団体客をはじめ、多数の観光客に対応することは困難であり、観光二次交通としての活用は難しい。

総務産業常任委員会

[岡本忠美委員長]

調査1 地域農業を支える現場の声 新岩手農業協同組合南部営農 経済センターとの意見交換

12月18日、JA 新いわて南部営農経済センターと意見交換会を行いました。農業資材や飼料価格、米価、後継者不足、アグリリサイクルセンターの現状について報告を受けました。肥料や資材の値上がりが続ぎ、米価が上向く一方でも、農業経営はなお厳しい実態が見えました。生産者の苦労を重く受け止め、地域農業を守る支え方を引き続き考えていきます。



農業の現状と課題への理解を深めた意見交換

調査2 鶯宿温泉の現状と課題 鶯宿温泉地区観光事業者との 意見交換

1月26日、鶯宿温泉エリアの現状と課題について意見交換会を行いました。営業施設数や入込客数の減少が続いている中で、合宿誘致や温泉パス、宿泊キャンペーンなどの取り組みも進められています。事業者から新しい企画は、一方的ではないかという意見もありました。今後は短期のにぎわいで終わらせず、地域の声を丁寧にくみ取った継続的な活性化が大切との意見もありました。



鶯宿温泉の今後を見据え意見交換

教育民生常任委員会

[徳田幸男委員長]

調査1 ごみ質組成調査分析等業務委託 ごみ減量に向けた調査の 進捗状況

12月10日、町民課より「ごみ質組成調査分析等業務委託」について、聞き取り調査を行いました。この業務委託は、ごみの組成を把握し、ごみ減量に有効な施策を企画・立案するための基礎資料とすることを目的としています。調査はこれまでに2回実施されており、他の自治体と比較して、「生ごみ」「ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類」「木・竹・わら類」が多い傾向にあることが分かりました。



分別されたごみから見える現状と課題

調査2 救急安心センター事業 救急安心センター事業の概要 と利用状況

3月5日、健康推進課より「救急安心センター事業」について、聞き取り調査を行いました。この事業は、令和7年度から開始されたもので、急な病気やけがをした際に、「救急車を呼ぶべきか」「病院を受診した方がよいか」など、判断に迷う場合に電話で相談できるものです。より救急性の高い方へ、いち早く医療が行き届くようにすることを目的としています。

急な病気やケガで
救急車? 迷ったら電話で相談

岩手県救急安心センター
#7119 (24時間365日)

救急電話相談、小児救急医療相談
救急車は迷わず119番へ

令和7年4月1日から
24時間・365日

小児救急医療相談 #8000

緊急時は迷わず119番へ

救急車を呼ぶか迷ったときは、まず電話相談を

広報広聴常任委員会

[堂前義信委員長]

仙北市議会が視察来町 議会だよりの編集方針などを 意見交換

1月20日、秋田県仙北市議会広報編集特別委員会委員8名事務局2名が来町。議会広報紙の編集や発行について活発な意見交換を行いました。

研修
1

先進地視察 議会だよりの紙面構成と 紙面のデザイン向上の研修

1月27日、山形県朝日町で視察研修をしてきました。朝日町の議会だよりは、各行政区長を紹介する「地域を見つめるリーダーたちの提言」や表紙を週刊誌風にリニューアルするなど町民が手に取って見たくくなるような記事内容やデザインが参考となり紙面作成向上のヒントを得ることができました。

研修
2

先進地視察 広聴活動の先進的取り組みを 研修

1月28日、山形県河北町で、視察研修をしました。議会が主催している「高校生議会」及び「高校生と未来を語ろう」という座談会と、「議会報告会と議員と語る会」について調査し、特に高校生議会については、若者が郷土に愛着を持ち地域課題に向き合う意欲と力を育成することができる活動であり今後の参考となりました。



主権者教育の取り組みを学んだ河北町での視察

議会運営委員会

[横手寿明委員長]

様々なご意見を聴きました 令和7年度 議会モニター会議を開催

令和8年2月5日、議会モニター会議を開催し、町議会からは幅秀哉議長、山崎留美子副議長、横手寿明議会運営委員長が出席し、モニター2名からは議会へのご意見や改善要望を様々ないただきました。

「議場での質疑の際、国会のように分かりやすくフリップを出してはどうか」

「年に一度開催される議会報告会での参加者からは要望ばかりが多い」

「課題解決に向けた住民との懇談会を多く開いてほしい。」といったご意見をいただきました。

議会側からは、予算や時間制約があり国会のようにはなかなか実現が難しい。課題解決に向けたテーマを絞った懇談会開催も検討していきたいと回答しました。



議会への課題などが寄せられたモニター会議

岩手県町村議会議長会 表彰を受賞

議会活動を通じて、地方自治の進展に大きな役割を果たした自治功労者として横手寿明議員が岩手県町村議会議長会表彰（11年以上在職）を受賞しました。



議長、副議長から受賞の伝達を受けた横手寿明議員（写真中央）



つちはし ひろあき
土橋 弘章さん (48歳・上西根)

雫石の田園風景

苗が植えられた水田が視界いっぱい広がる風景が美しいと感じます。それを見られるのも耕作者や地域の方々が畦畔や道路脇を綺麗に管理してくれているからです。高齢化で地域の維持管理活動の継続も難しくなりつつある今、この田園風景を守るために町全体の課題として考えていきたいと思えます。

VOICE

No.32



とくた ひかる
徳田 輝さん (35歳・安庭)

人との絆

宝物は、何より人。厳しい自然の中でも助け合い、支え合いながら前へ進む熱い仲間たちがこの町をつくっている。世代を超えて想いをつなぎ、挑戦を恐れず進むその絆こそが町の未来を力強く切り拓く。



やはば あらた
矢幅 新さん (76歳・西根谷地)

ほっこりする雫石言葉

岩手山を主体とした自然景観については誰しも納得するところですが、私の一押しは「ほっこりする雫石の方言」です。道ばたなどで顔見知りと行き会ると「ナジョシテラ? マメデラガ?」などと声をかけられます。すると何となく「うん、なんとかイキデラ」などと答えています。こういう相手に対する思いやりのある雫石人情を大切にと思うようになりました。

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。



はるきば ともえ
春木場 智恵さん (48歳・籬野)

未来を守る力

私の終の棲家が雫石であるように、暮らす場所とする全ての人々の未来が宝物。町の様々な課題を希望に変えるため移住推進や農泊体験等、豊かな自然を守り交流を広げる全ての活動の先にあるのは、数値では測れない宝物が息づく町の未来そのものです。



多様な現場で半世紀

私は西根地区で四人兄弟の3番目、次男でありながら三郎（長女あり）として生を受けました。小学校入学前年の秋に南部の曲り家が全焼、貧しい小学時代も少し活発なチビで野山を走り回りました。西山中学入学時、1m38cmの低身長で前から3番目も昼食時に飲んだ小岩井の瓶入り牛乳で中ぐらい程度に成長。部活は経費負担の軽い卓球部で過ごし今も楽しんでいます。

盛岡工業校時代に好きな卓球部に入部するも遠距離通学で夜遅いバスはなく断念しました。冬の厳しい寒さを凌ぎながらの通学。土木専門課程で放課後を費やし帰路には、当時暫く続いていた秋田駒ヶ岳の小噴火を見ながらの夕方帰宅生活でした。

就職先は東京方面を強く希望し京橋が本社の戸田建設へ。社内研修後の配属は東京支店でありながら都会から離れた長野県松本市郊外の山林、ゴルフ場の新設工事現場（ムムム…）がスタートでした。「金の卵」呼ばわりで皆さん可愛がってくれましたが人生初の親離れ。寂しさで母と手紙のやり取りをし「石の上にも3年」岩手山の雄姿を胸中に奮起。千葉・神奈川で住宅地の造成工事や地下鉄新設夜間作業、港湾工事等を経験し福井県では冬の稲妻を聞きながら初めてのトンネルを含む高速若狭自動車道で2年間過ごしました。

鉛色の空の下では、サバ・カニ・ボタンエビなど海の幸が気持ちを明るくしてくれた。30代後半から

現場代理人を任せられ上下水道工事、広島支店時代は難度の高い広島高速道路のジャンクション工事で50カ月、人生最大の工事不安も大きかったが長丁場、無事竣工したことは土木技術者としての大きなやりがいを感じた。

建設現場ではその都度、社員構成・協力業者がすべて入れ替わり調整の難しさが他産業と大きく異なる。圏央道関連では新しい橋（55m×2径間＝110m）の架設、都心ではポンプ施設の耐震補強に7年関わるなど現場一筋。大きな事故もなく戸田建設に53年間お世話になりました。現場移動の合間には、夫婦で海外旅行を数回することができ、病院の入院経験もなく（無事これ名馬？）親と妻に感謝です。

現在は高校時代に続けられなかった卓球を20年ほど前から地域のチームに入り活動中。ゴルフと国内旅行（海外高過ぎ）を楽しみに……。また、母校への微々たる応援もしています。雫石町への希望は、以前取り組みがあったと聞いていますが地熱発電利用の町おこし（戸田建設も浮体式洋上風力発電を稼働）を実現していただければと思います。



広島高速
温品ジャンクション

昭和27年7月生まれ。西根小学校 ⇒ 西山中学校 ⇒ 盛岡工業高校土木科 ⇒ 戸田建設(株)。
屋号：八丁野の又兵衛。東京墨田区在住。



長男・次男夫婦と共に



趣味の卓球を練習中

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

く め かわ の り こ
久米川 法子さん (53 歳) | 上町三 | ※盛岡市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 以前の仕事の関係で出会いました（第一印象は最悪）。紆余曲折を経て、6年前町内にブルーベリー観光農園を立ち上げ、結婚を機に移り住みました。

Q 雫石町に暮らしてみているいかがですか？

A 地域の方々とのつながりの中でライフワークを楽しめることが最高の幸せだと感じています。また近所にアットホームな飲食店が多く、晩酌が進んでしまうのがうれしい悩みです。

Q 町へ望むことは？

A 観光ガイドブックに載っていない町内の穴場的スポットをどんどん発掘・発信してほしいです。また公共施設が充実しているので、気軽に足を運べるような音楽コンサート等の開催が増えるとうれしいです。



ブルーベリー農園にてお客様お迎え時の一枚

左から 夫の**よしひと** 好人さん (62 歳)
本人**のりこ** 法子さん (53 歳)

なかよしシリーズ③②

今月の表紙
Photo by 川代大輔

写真左から
みなぎ 海凧さん
かいせい 海晴さん
うた 海大さん



まえかわ しょうた まい
前川 将太 麻衣さん (御明神谷地) のお子さんなかよし3きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長男 海凧さん (14 歳) : フィジーク選手
次男 海晴さん (12 歳) : 芸術家
三男 海大さん (6 歳) : レスリングで金メダルをとる

情報公開

● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳 (1 月～3 月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
1月	1件 20,000円	4件 22,000円
2月	0件 0円	6件 59,500円
3月	1件 30,000円	1件 4,000円
合計	2件 50,000円	11件 85,500円

※議会の動きは HP に掲載しています。

■ 編集デスク

陽春の心地よい季節となり、令和 8 年度がスタートしました。町の予算も、一般会計をはじめとする全 10 会計が可決され、各種施策を着実に推進する予算となっています。一方で、中東情勢の悪化による原油価格高騰は、さまざまな影響を及ぼし、値上げの再ラッシュとなっています。家計へ負担が重くのしかかっていますが、生活習慣の根本的な見直しが効果的とのことです。

新年度も、分かりやすく親しみやすい広報を編集していきますので、ご一読のほどよろしくお祈いします。

(広報広聴常任委員：坂井尚樹)

発行責任者(議長)／幅 秀哉
編集委員長／堂前義信
副委員長／徳田幸男

編集委員／坂井尚樹・金子一男
畠山 操・高橋公史
小笠原百合子

